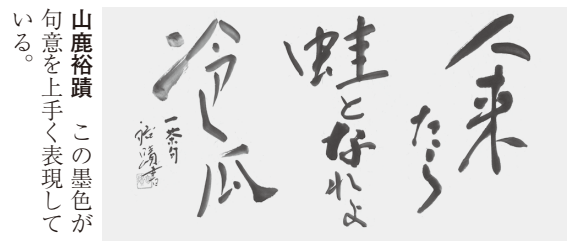
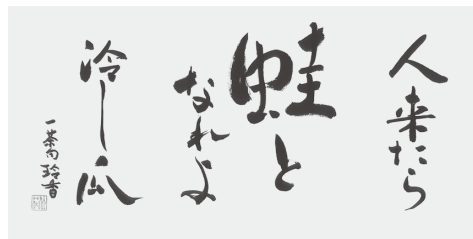


- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。（作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入）

〈B課題の部〉



山鹿裕蹟 この墨色が句意を上手く表現している。



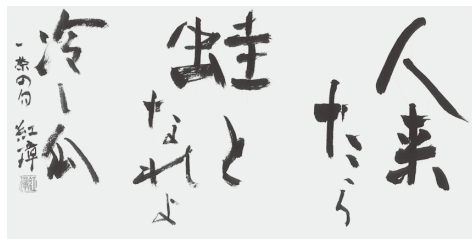
位ノ花玲香 余白も美しく穏やかな作品。



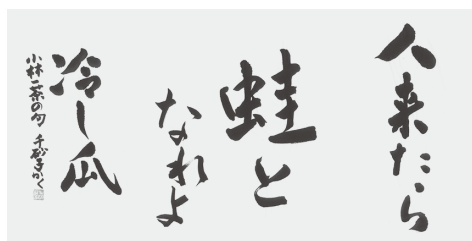
熊谷信江 大小潤濁が上手く調和している。今後が楽しみ。



鈴木彩園 蛙を見せ場に作品がうまくまとまった。



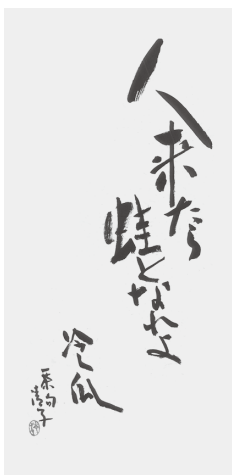
谷野紅璋 流れよく、やさしさがある。落款位置が詰まったのが残念。



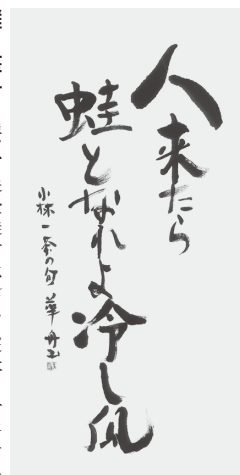
野崎千砂子 終始二貫、真面目に書けた。今後は潤濁を意識して。



松本栖麗 独特なリズムで楽しい作。



岡田清子 余白を多くし、涼しげに表現された。

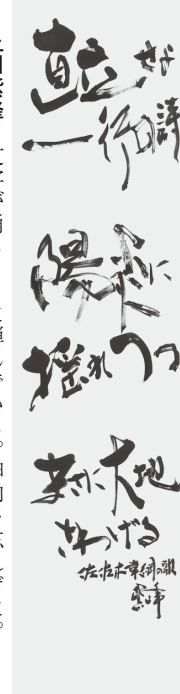


灘 華舟 穏やかな表現で縦へと流れている。落款も少し下でも。



今井香華 強いリズムで横への流れを奏でている。

〈A課題の部〉



上田紫峰 文字が踊るように弾んでいる。押印を忘れずに。



佐藤真里 手慣れた淡墨表現で伸びやかに仕上げた。

優秀作品

現代書部 次号課題

A かなしきときは貝殻鳴らそ

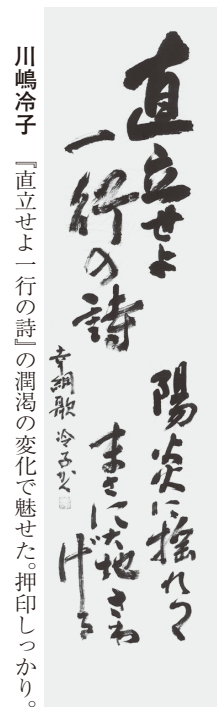
二つ合わせて息吹きをこめて静かに鳴らそ
貝がらを

(新美南吉 詩)

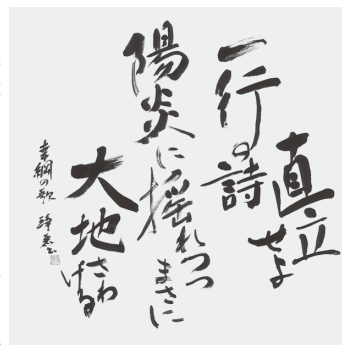
B 滝の上に水現れて落ちにけり

(後藤夜半 句)

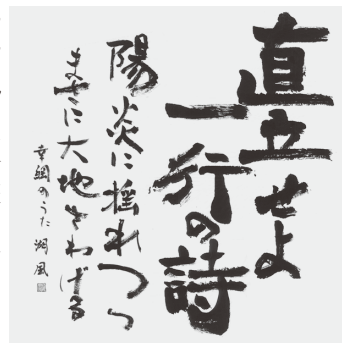
七月、障害者アートの普及を目指して活動されている《みらいの森「二つのプロジェクト」》に「みらいの森書道展」としてインターネット上とギャラリーでの展覧会が開催されました。水明書道会として共催し障害者施設で教えておられる方々の協力で三十点近くが集まりました。作品からは、書くことが楽しい、自分の気持ちを表現したい！など作者の気持ちさがストレートに伝わってきます。まさに文字がアートとなって躍り出しているようです。上手くみせようとか、どうしたら入賞できる作品になるか…なんて関係ない。大事な事を教えていただきました。水明展で、どんな作品に出会えるか楽しみです。



川嶋冷子 「直立せよ一行の詩」の潤濁の変化で魅せた。押印しつかり。



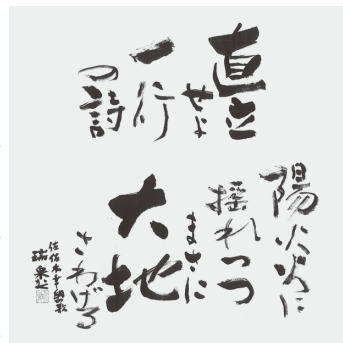
永田瑠麗 リズムに乗り大小変化で流れを出した。



井上湖風 直線主体で迫力あり。「詩」の終筆はやり過ぎた。



大橋鈴峰 大胆な陽炎。デフォルメしたら全文を再度書きましよう。



安積瑞泉 ニブロックがうまく呼応しあっている。